|  |
| --- |
| 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 法人名 | 社会福祉法人しおかぜ | 代表者 | 理事長矢野　旬一 |  | 法人・事業所の特徴 | 社会福祉法人しおかぜは、特養・ショートステイ・デイサービス・訪問介護・小規模多機能や認定こども園と子供から高齢者まで、幅広く生活を支援することができます。小規模多機能では、認知症高齢者の支援に力を入れており、軽度から重度の方まで様々な状態の方に利用して頂いています |
| 事業所名 | 小規模多機能ホームやすらぎの家児島駅前 | 管理者 | 立石　裕子 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援ｾﾝﾀｰ | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
| 人 | 人 | ２人 | 人 | 1人 | 1人 | １人 | 2人 | 人 | ７人 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　　目 | 前回の改善計画 | 前回の改善計画に対する取組み・結果 | 意見 | 今回の改善計画 |
| Ａ．事業所自己評価の確認 | ・毎月のやすらぎ会議で取り組みについて自己評価を行い、改善計画を常に意識する。 | ・毎月確認する事で、より意識出来る様になり、更に改善点を見つける事も出来た。・各ご利用者様の担当の名刺を作り、職員・ご利用者様共に意識付を行った。役割の幅が広がり、個人の「～したい」等が形に出来ている。 | ・職員の振り返りができる良い機会でもある。・評価については、個人差がある。 | ・引き続き、まずは担当のご利用者様のしたい事、行きたい所、食べたい物、困っている事等の声をしっかり拾い、一つずつ叶える。・チームとして支援できるよう職員同士の連携を強化する |
| Ｂ．事業所のしつらえ・環境 | ・寄せ植えを置いたり、施設周りに種を蒔く等してお花を咲かせ、明るい雰囲気で、気持ち良くお迎えする。 | ・ご利用者様が来所時、足を止め見て季節を感じたり、会話のきっかけになったりしている。・訪問者も褒めて下さる。 | ・ご家族様や来訪者等から、種や苗、プランターを頂く事もあり、より明るく綺麗になった。 | ・事業所内もご利用者様の作品を飾る等、四季折々の環境作りに取り組んでいく。 |
| Ｃ．事業所と地域のかかわり | ・散歩を兼ね引き続きゴミ拾い実施・創設１０周年記念イベントを実施し。地域の方等もお招きする。 | ・季節の良い時、足元が良いご利用者様の時は、散歩を兼ねてのゴミ拾いも出来た。・１０周年記念イベントは雨天だったが、地域の方やご家族の方も来て下さり、一緒に楽しんで頂けた。 | ・公園はいつも地域の方が、綺麗に掃除をして下さっている。・側溝より雑木が生えている。市の方へお願い出来るとの事。・今年は地元の中学生を職場体験として、受け入れを行った。 | ・事業所通信を隔月から毎月に変　更。又ホームページやインスタ　等のSNSも開設し施設の様子をご家族様や地域の方にも見て頂ける様にした。継続し発信していく。 |
| Ｄ．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み | ・日常生活の中で公共施設に出向いたり、施設周辺の散歩の機会を多く持てる様に支援する。 | ・コロナが５類に移行したとはいえ、感染力も強く、なかなか人の多い場所に出掛けるのは、実際まだ躊躇するところがある。 | ・特に意見無し。 | ・地域の行事（お祭り等）に積極的に参加。・感染症対策をしっかりし、散歩やドライブ等、地域に出向く機会を増やす。 |
| Ｅ．運営推進会議を活かした取組み | ・引き続き現状の形式を維持し、情報交換しながら、地域と協働して実施できる事はないか検討する。・運営推進会議時に、地域で困っている方等の情報共有をする。 | ・事業所やご利用者様の様子、課題等について意見交換しながら情報共有出来ている。・地域で困っている事については、現在特にないとの事。 | ・猫や犬の保護＆捕獲についての　意見があった。 | ・運営推進会議で出た意見を事業所会議の課題として取り上げ、参加した職員だけではなく、全職員で情報共有し改善に努める。 |
| Ｆ．事業所の防災・災害対策 | ・地域の避難訓練に声を掛けてもらい、出来る範囲で参加させて頂く。 | ・２コースに分かれ参加させて頂く。その際、事業所やその他介護施設、介護保険等を知らない地域の方から質問もあり、お伝えする事が出来た。いつでも見学に来て下さいと声掛けする。 | ・小地域ケア会議でも、防災の勉強会や情報共有をしている。・発電機を購入したり、備蓄品の準備等も進めている。 | ・引き続き地域の避難訓練に参加させて頂く。出来ればご利用者様も数名参加してみる。・家具等の転倒・落下防止対策。 |